

110.820 16 de Abril

DIRECCION:
USPALLATA 981
U. T. 28-7051, B. O.

EL "ARGENTIN DJIJO"

AÑO XV

FRANQUEO PAGADO
CORREO ARGENTINO
TARIFA REDUCIDA
CONCESION 718

大阪商船會社指定
三等乗船切符仲次所
大阪商船會社船々客御送迎に就
ては懇切迅速に御便宜を御取計
申可候間、御遠慮なく下記へ
御用命賜度候



森川塩澤商店

PASEO COLON 470
U. T. 38-4171
U. T. 38-4808

OSAKA SHOSEN KAISHA

U. T. 33, AVENIDA 1051 - 1052 - 1053 - 3565
COOPERATIVA CENTRAL 2047
BUENOS AIRES

Av. 2º PISO



大阪商船

●小兒運賃 旅券記載生年月に依り満十二歳未満「半額」、満七才未満「四分
ノ一」満三才未満無賃、満四才以上亞國生れの方は、亞國旅券必
●乗船支拂 日本行運賃は全部米貨運賃です。一等は乗船切符買求め當日の
換算率、三等は本船入港當日の換算率(何れも自由市場率)に依り運賃にて
●拂込みます。一等は定額運賃(割)の出國税が掛ります。(三等は無税)
●歸國御手續 旅券面に日本領事の査証が要ります。三等客は乗船前乗船
の健康診断を受け下さ。切符は本船入港當日から出帆前日迄發賣
●日本より御呼寄の便法當地にて乗船支拂あれば乗船券引換証書上ま
す。但し移民局發給入國許可証及日本領事館發給呼寄証明書持参下さ
●鐵道省乗車券發行 日本第一港から本船切符の上陸港迄鐵道省汽車乗換
の協同船便の代りに乗車券贈呈
●弊社内航線切符發行 弊社内航線寄港地を目的とさるゝ場合等内航線切
符贈呈 (但し沖繩、參等五割引)

乗船運賃

船種	日本	日本	日本
A型	米貨 四五〇弗	特三(洋) 一五七弗	一等 九三弗
B型	全 四〇九弗	特三(和) 一四三弗	二等 八五弗
南船	全 三七二弗	特三(和) 一四三弗	三等 七五弗
南船	全 三七二弗	特三(和) 一四三弗	和食 二百廿五弗

●北米パナマ經由日本行(年十四回)横濱まで 四十七日 [A型]よりすあといれ十九
●安南經由日本行(年十四回)横濱まで 六十日 [B型]よりすあといれ十九
●安南經由日本行(年十四回)横濱まで 六十日 [B型]よりすあといれ十九

亞市然丁時報

DIARIO JAPONES

Director: T. MIDZUNO
Redacción: USPALLATA 981
U. T. 23, Buen Orden 7051
BUENOS AIRES

TARIFA DE SUBSCRIPCION
Un mes \$ 2.-
Tres meses " 6.-
Seis meses " 12.-
Un año " 24.-

YAMASHITA LINE

FAR EAST-NEW YORK-SOUTH AMERICA SERVICE

AGENT

CHADWICK, WEIR & Cía.

25 DE MAYO 516

U. T. 31-0026-29

"K" LINE



KAWASAKI KISEN KAISHA Ltd.
K O B E, J A P A N

Representantes
J. E. TURNER & Co. S. A.
RECONQUISTA 325 • U. T. 31-3491-3

キリスト教青年ホーム
ペンシラン 定期又は一時
聖書の研究 毎土曜午後八
郵便物取次 奉仕致します
守屋保吉

C seros 1983
U. T. 23-9872

Semillería EL COLONO

ABONOS :: HORMIGUICIDAS :: INSECTICIDAS
IMPLEMENTOS AGRICOLAS
SEMILLAS Y PLANTAS

J. S. GAGO

IMPORTACION DE SEMILLAS
EN GENERAL

HERRAMIENTAS PARA JARDINES

GENERAL HORNOS 58
U. T. 23 BUEN ORDEN 7101
BUENOS AIRES

PIDA CATALOGO GENERAL

優秀船八隻就航

川崎汽船株式會社

川崎汽船西廻世界一周航路
▲横濱比律賓海峽植民地印度及紅海沿岸諸
▲港文文運河經由加奈陀北米伯刺西爾亞爾然丁
▲亞爾然丁伯刺西爾巴奈馬運河經由太平洋
岸諸港 橫濱

TALLER
MECANICO

de G. GONZALEZ

プラシナマ機
カルデーの
修繕其他

SAN JOSE 220

U. T. 38 - 5923

時計修繕
電話で御一報次第参上致します
市内カビルド街一七七八
電話(五二二)〇九三三

CABILDO 1178

U. T. 52-0933

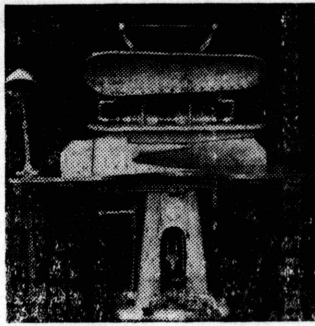
齊藤染色工場

設備完全
仕事入念

邦人間唯一の
染色工場

BELGRANO 3061

U. T. 45 - LORIA 5442



新案
T.P.P. 印刷
カルデーセント
リッパ・キエーゴ
のプラシナマ機
製造販賣修繕
高橋秀雄

Av. La Plata 1416

U. T. 60 - 9421

自宅出張撮影
複写引伸し
寫真師 佐藤貞則

SALTA 158

U. T. 37-3704

TOYOKEN

25 DE MAYO 356

U. T. 31 - 0739

東洋軒
料理部
純日本料理
折詰弁当
井物一切種類
畫食
配達致し并
相変らず
市引立を

Masajista Japonés

SEGUOLA 1992-6

U. T. 67-4591

日本式マッサージ鍼灸
リウマチス、神経痛、呼吸器病
胃腸病その他一切の疾病、効
日本書院は西坂商店でも
取扱ってあります
山田忠重

GRAN PREMIO EXPOSICION DE LA
INDUSTRIA ARGENTINA 1933-34

BILLARES BRUNSWICK
BANDAS MONARCH
ULTIMA NOVEDAD "SNOOKER"

Solicite informes



Cia. Brunswick Sudamericana S. A.

1894 - CANGALLO - 1900

U. T. 47, Cuyo 3577 - Buenos Aires

MATSUYA HOTEL

TACUARI 580

U. T. 34 - 1344

親切丁寧
顧客本意
浴室完備
まつや旅館
料理係、井物一切
日本菓子製造致す
の会合に成ります

だ井物一品料理仕出し
すし、おぼろ、饅頭、煮出し
御膳、お祝い、お誕生、お祝儀
御注大に成ります
松田清市

BOLIVAR 1556

U. T. 23 - 4092

"PLATA BRAUN" MARCA REGISTRADA



カフエ、レバ、
レストラント用の
メタル製品の
御用命は日本人間
に絶大の信用ある
ZEMMANN
月曜日の御社文に
應じます

BERNARDO BRAUN e HIJO

CORRIENTES 4349

U. T. 54, Darwin 4111

A L M A G E N

NISHISAKA

AUSTRALIA 1101

U. T. 21-2916

醤油味噌
洋食香物 製造販賣
日本食料品輸入販賣
豊平万盛油
値段勉強配達迅速
西坂資太商店

Ernesto Coco

15 DE NOVIEMBRE 2335

U. T. 23 - 2835

ケロセン廉賣
永年日本人洗濯店
並に御家庭の
御職員を蒙って居ります

領事館、銀行、船会社、近く
御乗船御下船の便
御旅館
地方、出武の二部は是非御参りなす
昭和館

25 DE MAYO 330

U. T. 31 - 5145

BUENOS AIRES

"KEROGAS"

Ing. F. STUCKLER

U. T. 51-3252 PACHECO 3260

最新型ケマド、レス、及び
タンケス、ア、フレシオン
製作販賣
諸種ケマド、修理、部分品
販賣、日本人間に多数顧客
左有し、仕事は入念迅速、電話
で御一報次第至急参上致します

TALLER GRAFICO

NIPPON

SANTIAGO DEL ESTERO 975

U. T. 23 - 7864

刷印版活文西
堂ンホツニ
種各他其、別名商標等
寸寸上款命用御参りなす
徳州丸

我が海軍航空隊長沙爆撃により 蒋介石・宋子文重傷か？

(上海十五日) 当地に達した情報によると、十日我が海軍航空隊の長沙爆撃により、蒋介石は西足に、宋子文は腰部に夫々重傷を受け、危殆に瀕する上、夜に入りて最前線に何処かの遺ひをうけたと云はれる。

大行山脈中我が憲法の凱歌終す 共産軍の本據次々に陥落!

(北京十五日) 山西省東部大行山脈中、蟄居する朱復を首領とする共産軍は、山西、中央兩敗残軍を併合し、各部隊を破竹の勢いで、次々本據を放棄し、十三日敵部隊の武備占領に引続き、部隊の補給を断たれり。共産軍の本據を完全にして、大行山脈中の匪隊の凱歌をあげた。

二領事館閉鎖問題を繞る日ソの対立 紛争の責任はソ聯の負ふべき所と 我方警告し、猛省を促す!

(東京十五日) 帝國政府は實にソ聯政府の我が二領事館閉鎖要求に対し、其の不法を強調し、該要求の撤回方を折衝中の所、十四日ソ聯政府は之を拒絶し、更に我が外務省側はソ聯政府の態度を強硬と見做し、我が要求の貫徹を促進すると共に、十五日の當局を代表して、

ソ聯軍艦閉鎖問題に就いて、我々ソ聯政府の不法行為は帝國政府は固く政府の措置を撤回せず、併し折衝の交渉中から不測の一方、脅を懸け、殊に先般ソ聯的ハバロフスク、ブラゴウ政府より本問題を含む懸案案エチエンスク我が二領事館の閉鎖につき一提案をなして、対し十五日限りの閉鎖方を要する關係があり、西國關係を

不可解なる理由

この提案に対し、種々考慮を加へ、西國附近の立寄り禁止区域に於ける領土に不法侵入したるの抑留中ありしソ聯軍艦のクズネットロイの叩きと我が國法の許す範圍に於てその解放に盡力し、両艦は既に解甲解除したるに不測、ソ聯政府は隨處案の調整を一切互進するの眞意を察せしめ、示さざるのみならず、却り最近に至つては前記二領事館の閉鎖要求はソ聯政府の決定するものと云ふりふと。

皇軍將士を懐く親心 陸軍は給食改善の爲め 戦時給食規則を改正

(東京十五日) 戦時給食規則を改正する皇軍將士の給食を改善し、之を良くしようと云ふ親心の大改正を行つた。改正の要因は戦時給食の糧食中主力を増加し、他、大體改の通りである。

敗戦支那の断末魔風景 我が空襲を賭博の種々 金のやりとり

(上海十五日) 賭博に生命を捨てることと併し、我が支那入板性を如実に暴露して、漢口を二一〇グラム、天津、梅子、

GRAN DESPENSA
"EL LUCHADOR"
CESAR AUDICIO
G. UGARTE 439 U. T. 808 Lomas
LLAVALLOL F. C. P.
7RA SUCURSAL
MORENO Y 25 DE MAYO U.T. 117 CAÑUELAS
RDA SUCURSAL
ALSINA Y ETCHEGOYEN U.T. 66 BURZACO

食料品即小賣
良品廉價販賣
特日本人購買には
大歡迎致します
J.A. (SIA) 石炭
は井戸水(塩水)用として
理想的です
更第一度御便
の種御願致し外

文部一流の宣傳工作 失業新聞記者募集の ソソの戦時全圖(報道)

(上海十五日) 漢口よりの病

三六事件犯人處置罪で 久原謙雲に罰金裁判

(東京十五日) 三六事件の犯人久原謙雲に罰金裁判を宣告した。

中国青年記者協会 の結成が最近の創立大会 を挙げて

青年記者協会の結成が最近の創立大会を挙げて

現在の日ソ関係 特に急迫せる事実無し

（東京十四日）広田外相は十三日、可成りあるがこれは順を違つて...

山東省南部に於て我軍 約二十倍の衆敵と違日激戦

（濟南十四日）山東省南部に於て約二十倍の衆敵と違日激戦中の我軍は...

支那軍毒瓦斯使用

（東京十四日）大本営陸軍部発表によれば、南支山東省に於ける支那軍は...

中支の鉄道電信電話 將來は日支合併で経営

敵産処理及内華航路権問題

（上海十三日）維新政府行政委員長梁鴻志は十三日午後...

敵産処理及び其他の向題

（東京十四日）政府は生産力拡充計画遂行の一原動力として、仁字の衆敵の協力により不足...

内閣化学審議会の設置決定 生産力拡充計画遂行の一原動力

（東京十四日）政府は生産力拡充計画遂行の一原動力として、仁字の衆敵の協力により不足...

（東京十四日）初代駐伊滿洲國公使（羅馬十三日）初代駐伊滿洲國公使徐紹卿一行は十八日羅馬...

初代駐伊滿洲國公使

（羅馬十三日）初代駐伊滿洲國公使徐紹卿一行は十八日羅馬...

支那空軍醜状を曝露

ストライキ政行の外人飛行士を誡告

（東京十四日）我が空軍の醜状を曝露する。アシエールの二名が東洋漢口に...

伯林・東京を購入機空輸

（伯林十五日）滿洲航空會社は、遠より機運最新鋭機ハインケル...

御知れ也

本会は左記の事項を行つて居りますから、御知れ也...

海外婦人協会支部

（上海）海外婦人協会支部の設立...

カリノ前知事等の日本観光團

重國留学生ペリカノ氏等横濱安着

船中で早くも皇軍に百拜献金

(東京十五日) 十五 日朝ロスアンゼルスから横浜に入港したカリノ前知事等一行七名、途々南米アララリから皇軍に出征を志願しての邦人青年井戸義雄(三三)連筋義雄(三三)、川端正雄(三三)の三青年、多彩の船客が来帰朝した。アルゼンチン観光團は一月間、各地を観光し、日本の春を満喫する筈で、アルゼンチン政府から特許状を授けられ、我が陸海軍の発展に資するものと見做されてゐる。

親善の行

(東京十五日) 十五 日朝ロスアンゼルスから横浜に入港したカリノ前知事等一行七名、途々南米アララリから皇軍に出征を志願しての邦人青年井戸義雄(三三)連筋義雄(三三)、川端正雄(三三)の三青年、多彩の船客が来帰朝した。

公認小学校児童の父兄会し

各社問題につき懇談を遂ぐ 当日父兄会し、各社問題につき懇談を遂ぐ。当日父兄会し、各社問題につき懇談を遂ぐ。

一日一題

軍種増強の爲めシベリヤ極東方面の防務を強固にする。一方英國は海軍力に於いて、我が國に劣る。我が國は海軍力に於いて、我が國に劣る。

十字架を忍ぶ

國際電報の激刺は、我が國の前途を憂ふ者には、十字架を忍ぶ。我が國の前途を憂ふ者には、十字架を忍ぶ。

病氣

宮田政市長長男病氣。宮田政市長長男病氣。宮田政市長長男病氣。

歸武

出武しその後南野地。出武しその後南野地。出武しその後南野地。

出武

伏見義雄氏コルドバ市。伏見義雄氏コルドバ市。伏見義雄氏コルドバ市。

南米四共和国の軍備

断然水準を抜く。断然水準を抜く。断然水準を抜く。

統計

北米民間軍事専門家。北米民間軍事専門家。北米民間軍事専門家。

洋画壇の中堅から成る

前外務省を訪問。前外務省を訪問。前外務省を訪問。

彩管部隊が中支戦線へ出動

我が國は海軍力に於いて。我が國は海軍力に於いて。我が國は海軍力に於いて。

日本の真相伝播に

濠洲放送協会発出。濠洲放送協会発出。濠洲放送協会発出。

病氣や事故に国家補助金

一般大衆に福音を齎す国民健康保険法

「施実りの月七々愈」

国民健康保険法は去る三月二日国会を通過して愈々今夏七月から実施の運びである。一般大衆の働き手である主人が自分をして仕事を休ませ、会社を休む、可愛らしい子供が病氣にかかり、病室に送られてくる。これらに苦しむ一般大衆の生活に救済の光を照らす。これこそが国民健康保険法の目的である。

国民健康保険法は去る三月二日国会を通過して愈々今夏七月から実施の運びである。一般大衆の働き手である主人が自分をして仕事を休ませ、会社を休む、可愛らしい子供が病氣にかかり、病室に送られてくる。これらに苦しむ一般大衆の生活に救済の光を照らす。これこそが国民健康保険法の目的である。

医療費の重圧

金源と云ふものは、主として医療費の重圧である。医療費の重圧は、金源と云ふものは、主として医療費の重圧である。医療費の重圧は、金源と云ふものは、主として医療費の重圧である。

八萬四千トーン 世界一の豪華船

世界一の誇りにある英國キナード社のクイーン・メリー号(八萬四千トーン)の出現。これは一週り大きく、全長は十三百呎、テヅキと十三層、煙突は二本である。

厚生省は此の四月より実施期日付を修正し、全般的に備前会を揃えて、市町村等に法案の趣旨徹底を計る。当分の内、

豫定


組合設立は一府縣、二市、三町、四村と見て、組合費は二万圓、一組合平均四百二十人、これは全日本の町村平均(均数)として全加入被保険者五百万人、十一年度までは六百万人、十五年までは七百万人の加入を見る予定である。

カトル印紋取線香
日本一番有名な安住の紋取線香を御用下さい。安くて一番有効です。小売店で御買取の時はカトル印を御指し下さい。
安東商会
市内西三丁目五三二番地
U. T. 三三(アトミック)二一九六

CORNEJO KÖSTER
MEDICO CIRUJANO DE HOSPITAL RAMOS MEJIA
AV. DE MAYO 1334, 1º PISO D
U. T. 37-2.239 (DE 17 A 20 HORAS)
診療に應じ外
皮膚病 梅毒 淋病 尿管 肺病 心臓 腎臓 婦人科 小児科

新刊書籍雑誌
新盤レコード
続々到着
藏田書店
市川カネロス街一八九二
U. T. 三三(アトミック)九八三

建康は成功の基
建康的理想的
病弱者は健康に
建康者は体質を
より強化増進!!
空歴、利軟、保集により、腹厚の高まる、血行の整ふ、新陳代謝機能旺盛になり、胃腸に活力を興へ、休息を強化し、
○ 腹注胃腸病、胃下垂、神経衰弱、不眠、便秘、無氣力、倦怠、精神の弛緩等、体力増進を望む人は是非一具を試用せよ。▲ 五百圓に限り特買九百五十圓(地方産科共十%)の特製品定價十二ペソ、
バルカル街一四七一
電話三三二一四八七
片山製作所



サリタはまじめなアカアミアアと云ふ小定評の多くを人々が習いに来り、いま、薩ツニベソで舞踏の習ひ初められ、其の普通サロンには練習生の多いの、特別に入の居るの教授室で施し、その要らなく、果業の踊ります、ステップ、互の存知ふり、十二曲、(ソソコ)練習室

ACADEMIA DE BAILES
SARITA
CANGALLO 1279
DE 9 A 24 HORAS
TODOS LOS DIAS
PROFESORA SARA MUÑOZ

モンテピテオ丸 来る十九日出帆
マニラ丸 四月廿四日出帆
ラプラタ丸 五月十日入港
五月二十日出帆
大阪商船会社武市支店

ラキリアム・グン
ソシキベルド商会
代理人
グイセンテ
シアリエーロ

和 優良球根
入 各種販賣

RIVADAVIA 5871
U. T. 68-5982

日本産敷 建築
文化住宅
家具製造修理其他の御用命を願ふ

大工指物師 山本 玄
Av. del TEJAR 4817
U. T. 741 (Florida) 3150

歯科医療の
御相談に應じます

日本歯科 山本実雄
医学士

應接時間 午前八時~午後十時
市内エントレ・リオス街九七三
分二階・ロ・ニ・ニ・一・五・四・二

MEDICINAL NEWS

28 - Suipacha - 28

。淋病梅毒 治療代は全治後頂きます
。肺結核新療法 月十の便あり
。婦人科。電氣治療科
。X光線科 (各科専門医十名)
診察料三ツ 午前九時~十二時
午後二時~八時
日曜祭日は午前中

SEMILLERIA
Juan Calé & Cia.

CASA MATRIZ
123 - PUEYREDON - 123
U. T. 47, CUYO 0065 y GUYO 0066
COOP. TEL. 1187, OESTE

Sucursal N.º 1: CORRIENTES 3175
U. T. 62, Mitre 1954-C T. 323, Oeste

Sucursal N.º 2: RIVADAVIA 2425
U. T. 47 Cuyo 8098-C T. 1105, Centr

琉球三味線教授
土曜日午後二時より
初等科
日曜日中等科

安里電業
COMPOX 1648
U. T. 23 B. Orden 8224

JUGUETERIA
TORRO
SARMIENTO 540
U. T. 34 - Defensa, 1687

SASTRERIA "TORRO"
SARMIENTO 654
U. T. 35, Libertad 1392

品買本位
仕立入念
八十五ペソ
より各種

トロー
高等
洋服店

この店が切實な
縫製の手間は
一週引致します

玩具御買家必
廉價在庫品豊富の
トロー玩具店で
日本製玩具あり
御申込次第型録進呈

東京 国分鉄藏
医学士
左記に於て歯科医療の
御相談に應じます

ドクトル エアロド キンターニヤ 歯科医院
市内エントラス街六九二、四階
デパルタメントM 電話三三三三三三

Franz y Fritz
DANCING
348 PARANA 350

一階に新設致しました美しい
冬の花園の御披露致します

夜の部
百名の麗人ダンサー!!
卅名の藝術家登場!!
日本人のモーツがサービス致します

グリエテは毎日午後六時半より
小ルンチ附コペティン一ペソ
樂團は有名なカナロのオルケスタ
集めたグリエテを二回開催

新式シマフオ
賣安大機ヤチシラ



SALTA 431
U. T. 38, Mayo 0999

機シマフオ るな飲無全完の古中
すまし致賣販てに拂支件條好安格
(可もてに紙手の文本文日は文註御のりよ方地)

ホフマン式プランチヤ機
並にカルテラの修繕取付
一切廉價に引受ります

ホフマン会社
指定機種 トリビオ・グーメス

CHACABUCO 896 TELEFONO PARTICULAR 1182
U. T. 34, DEFENSA 4584
U. T. 23, B. ORDEN 4584

御旅館 双葉
和洋食月極めに應じます
皆様の御愛顧を願ひます

尾崎幸千代
USPALLATA 615
U. T. 23 (B. Orden) 5255

CLINICA MEDICA CANGALLO

CALLE CANGALLO 1542

Atendida personalmente por su Director
Dr. A. GODEL
Médico Cirujano

最新式獨乙療法

淋病 - 根治療法
梅毒 - 六〇六号、九一四号

婦人病 心臓胃腸 各科専門
肺腎臟神經系統 各種呼吸器

◎日本の方には初診無料

X光線、テアテルミ、血液検査

診察日 自午前九時 至 午後三時 至 九時
日曜祭日は午前中

無痛歯抜 ニベソ
セメント充填 五ベソ
金入歯 拾五ベソ
金入歯 拾五ベソ
総入歯 六拾五ベソ

診察時間
午前九時より
午後八時まで

DR. E. BULJEVICH
BDO. DE IRIGOYEN 1404
U. T. 28 - (B. O.) 0279

CAFE JAPONES

de K. UCHINO

LAS HERAS 667

TUCUMAN



ツクマン市
内野喜吉

GRAN TALLER "EL ASAHI"

de MIYAZONO Hnos.

Casa Matriz:
CHARCAS 1873 - U. T. 44, JUNCAL 4366

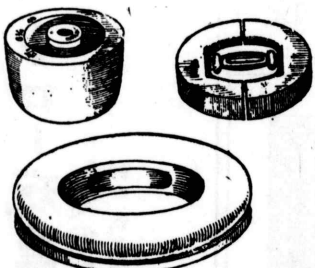
Sucursales:
BME. MITRE 2511 - U. T. 47, CUYO 7159
RIVADAVIA 5202 - U. T. 60, Caballito 4738
BUENOS AIRES

CONSTITUCION 148 - U. T. S. Fernando 46
SAN FERNANDO, (F. C. C. A.)

LUIS GORI Hnos.

LIMA 1029

U. T. 23-2897



帽子木型製造工場

チントレリアの仕事の
上手下手は型の善悪
に依ります。
仕事を上手にさせる
には良い型を使はね
ばなりません。
弊工場はマテラフラカ
マテラコロラ、アルゴロ
マテラ等流行型あり
りゆりゆり最新型あり
備て供給し、田舎あり
の御注文にも應じます。

KEROFIX

DEL Sr. ALEMAN (MARTIN)

M. SEITZ & Cia.

Talleres:
CHARCAS 4511
U. T. 71-9998

プレンチヤ機
カルデー用のケマ
ドリースデケロセン
製作販売修繕取
付交換引受け。
当方はカーサボ
カン以来御馴染の
独て人々日本人間に
数多の顧客を有し
仕事は入念迅速・電
話で御一報次第至
急参上致します。

CAFE Y CERVECERIA LA "SATUMA"

有水武二
久松純雄
竹内武義
加藤吉隆

General HORNOS 54

U. T. 23 - 0526

BUENOS AIRES

Doctor Julio Lutzki

A L S I N A 2 4 7 4
U. T. 47 - 5329

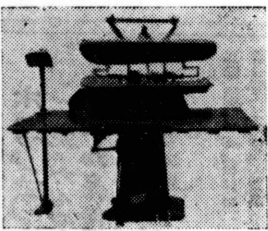
第二心臓肺臟喘息
療養呼吸器
午後五時 一医 師
診察 午後五時 至 八時

FRANCISCO SANTERO

EX-MECANICOS Cia. HOFFMAN

Galle DANEL 1438

U. T. 45-0294



プレンチヤ機並にセン
リアイガ製作販賣

Casa MALIS

DEFENSA 717
U. T. (33) 4382

カフェエド
純券用衣類の
御用會は弊店へ
サコシヨコ、ミモ
黒チヤコ、ミヤ
黒サコ、ハベ
上等全キスホッ



GRAN
MERCERIA
Y BAZAR

Casa fundada en el año 1928

PRIMERA Y UNICA CASA JAPONESA

Ultimas Novedades Para la Moda
Creaciones en Articulos Japoneses

SE ATIENDEN PEDIDOS TELEFONICOS

優良品
廉価販賣

具服太物・小間物
雑貨・最新流行婦
人用品及び御家庭
用品一切小賣店
同胞に限り割引
公認代理人
林甚次郎

CARLOS PELLEGRINI 1153
U. T. 41, Plaza 1306



Máquinas Hoffman

BELGRANO 525

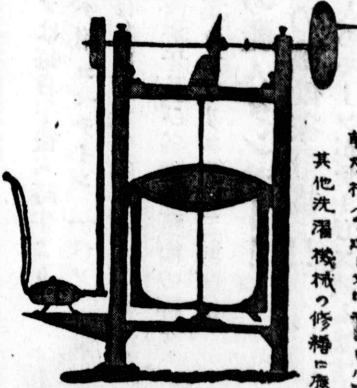
U. T. 34 - 1497

BUENOS AIRES

オフマン式プレンチヤ機及
同会社製附屋品販賣店は武
市に於ては当店一軒のみです

TALLER MECANICO A. MENDEZ

CALLE VERA 737 - U. T. DARWIN 1108



カルボンナフタ
乾燥機(丁廻し又はモートル)
其他洗濯機種の修繕に應ず

De las Universidades Japonesas

"Universidad tiene por objeto impartir conocimientos científicos, tanto teórico como prácticos, que son esenciales para el Estado; emprender investigaciones en diversos ramos de las ciencias, elevar el nivel del carácter personal y cultivar los ideales de la Nación", dice el artículo 1 de la Ordenanza Imperial de la Universidad, que así define el significado de la Institución Universitaria del Japón.

Existen en el Japón 46 Universidades, de las cuales 17 son oficiales, incluso las 5 reanunciadas Universidades Imperiales; 5 públicas o sean las sostenidas por los gobiernos Prefecturales o Municipales y 24 particulares.

Estas instituciones de estudios cuentan en conjunto en números redondos unos 70.000 estudiantes, atendidos por 6.000 profesores. Se gradúan anualmente más de 20.000. Ingresaron en el último año 26.000 estudiantes de los 65.000 que rindieron exámenes de concurso para el ingreso.

Una Universidad, por lo general, consiste de varias Facultades, pero en algunos casos especiales una sola Facultad puede también constituir la. Cada Facultad debe establecer un curso de Post-graduados (Kenky-Ka) y la Universidad compuesta de varias Facultades podrá, además, instituir un curso de estudios intensivos (Daigaku-In), el cual pondrá en contacto los diversos cursos de los graduados. Puede, asimismo, poseer, en circunstancias determinadas, cursos preparatorios anexos a la Universidad, previa aprobación del Ministerio de Educación.

Para ingresar a una Universidad se requiere haber cursado los estudios de las Escuelas Superiores o Preparatorios (Kotogakko) o ser egresado de otras instituciones superiores equivalentes a aquellas.

Las Escuelas Superiores (Kotogakko) del Japón, que sólo admiten alumnos por selección, de entre los egresados de las Escuelas Medias (secundarias), corresponden en realidad a la categoría de Universidad. Están divididas en dos secciones: Ciencias y Letras, ambos de 3 años de estudios, durante los cuales no sólo se perfeccionan los idiomas nacional y extranjeros, sino que reciben instrucciones especiales que preparan a los alumnos para sus futuras carreras.

Los estudios Universitarios duran 3 años, con excepción de la Medicina, que son 4, y obligan a seguir los cursos en orden correlativo y por año. Dice al efecto, la Ordenanza de la Universidad: "Cuando un alumno haya estudiado en la Universidad durante tres años o más (cuatro años o más en el caso de la Facultad de Medicina) desde la fecha del ingreso, y haya sido aprobado en los exámenes reglamentarios, obtendrá el título de "Gakushi" —que literalmente significa: Erudite Caballero— y estará calificado para entrar al curso de los graduados.

La Universidad está autorizada para conferir el título honorífico de "Hakushi" (Profesor-Doctor) a personas que habiendo perfeccionado los estudios especializados durante dos años o más en

los cursos de los graduados y obtenido la aprobación de Tesis que será examinado por el Consejo de la Universidad.

Figura entre las disposiciones penales, lo siguiente: El estudiante que no haya podido aprobar todos los estudios correspondientes a su curso dentro del término de seis años a contar de la fecha de ingreso, será dado de baja, sin más recurso, por orden superior.

El Gobierno de la Universidad Imperial está en manos del Consejo de la Universidad, compuesto por todos los Decanos de las Facultades dos o más profesores titulares de cada Facultad y presidido por el Rector de la Universidad. Todas las autoridades, profesores y suplentes y algunos funcionarios superiores, son nombrados por el Gobierno. El personal subalterno es nombrado por el Rector.

Los recursos de la Universidad Oficial dependen en su gran parte de los aportes del Gobierno, suplementados por los derechos que abonan los estudiantes y de las entradas que percibe de sus bienes propios, pues la Ley Universitaria del año 1890 le autoriza poseer bienes, aceptar donaciones y disponer de sus rentas para los gastos de la Universidad.

Cada Facultad tiene el Consejo de Profesores, compuesto por todos los profesores de la casa, que preside el Decano. Es la única autoridad de la misma. Los estudiantes no tienen ni voz ni voto en el gobierno y la administración de la Institución.

LAS UNIVERSIDADES IMPERIALES SON:

Universidad Imperial de Tokio, de Kioto, de Tokoku, de Kyushu, de Hokkaido y de Osaka.

De las Universidades Particulares más famosas son: Keiō y Waseda de Tokio, y Doshisha de Kioto, que compiten con las mejores de las Imperiales.

DE LAS DOS PRINCIPALES ESCUELAS EN EL ARREGLO DE LAS FLORES

Escuela formal y la Escuela natural

El estilo más conocido en el arreglo de las flores en el Japón es, probablemente, el de la escuela llamada "Ten-chi-jin" (Cielo, Tierra, hombre). Recientemente ha entrado de moda la escuela "Nageire", que significa: estilo negligé. Además de estos dos estilos, ha existido desde antiguo otra escuela conocida con el nombre de "Rikka", o sea el estilo rígido. Del estilo Nageire hay dos escuelas: la antigua y la moderna. Luego abundan diferentes escuelas, pero que son en el fondo de uno de los estilos ya citados. De las cuatro grandes escuelas mencionadas, podemos, para mayor claridad, dividir las en dos clases o grupos: la Escuela Formal y la Escuela Natural.

El término "Ikebana", como nomenclatura del arte floral del Japón fué dado en los principios del siglo XIX, antes del cual se denominaba "Rikka", que es un estilo de ese arte. Rikka era en sus mejores días de un estilo más complejo y solemne que el estilo de Ikebana moderno, y fué llamado con razón el único correcto del arte floral del Japón. Tiene, en efecto, una forma definida del arreglo de las flores que se titula de las "Siete ramas", que luego se evolucionó en "Nueve ramas" y más tarde a "Once ramas", cuando el arte llegó a ser un pasatiempo de la clase superior. Las "Siete ramas" son las siguientes:

- 1 Shim El corazón
- 2 Sho-shim Pequeño corazón
- 3 Mikoshi-eda Rama cruzada
- 4 Uke-eda Rama receptora
- 5 Nagashi-eda Rama colgante
- 6 Hikaé-eda Rama auxiliar
- 7 Mae-oki Rama complementaria

Y los restantes para formar las once ramas, son:

- 8 Dó El trono
- 9 Soe-eda Rama adicional
- 10 Kidome El soporte
- 11 Kusadome Guarda-yuyo

El estilo Ten-chi-jin es una simplificación del Rikka, aunque se considera como una escuela nueva.

El "Tenchijin" y el "Rikka" son ambos de la escuela formal y el "Nageire", libre y natural, como dijimos más arriba.

En el arte floral del Japón entran no solamente flores, sino también hojas y yuyos y hasta troncos de árbol, ya que el estilo Rikka se considera que debe representar un pequeño jardín dentro del cuarto.

En el próximo número explicaremos algunas reglas de estos arreglos.

CONTRIBUCION AL ESTUDIO DEL ARTE JAPONES

En un número anterior hemos publicado la lista de libros selectos sobre el arte japonés, lista que fué compilada por las autoridades competentes de la Comisión Nacional de Cooperación Intelectual de la Asociación Japonesa de la Liga de las Naciones, que ha merecido la aprobación general.

Damos hoy y a continuación las nóminas y direcciones de Instituciones a las cuales podrán dirigirse los interesados en procura de informaciones relacionadas con el Arte:

Kokusai Bunka Shinkokai (Sociedad de Fomento de Cultura Internacional), Meiji Semei Kan, Marunouchi, Tokio, Japón.

Academia Imperial de Bellas Artes: Ueno, Tokio, Japón.

Nihon Bijutsu In (Instituto del Arte Japonés): Shitaya-Ku, Tokio, Japón.

PRODUCCION INDUSTRIAL DEL JAPON EN 1936

Según investigaciones practicadas por el Ministerio de Comercio e Industria del Japón el valor de la producción industrial del Japón propio durante el año 1936 fué superior al del año 1935, en el 14 o/o. Fué un año de gran actividad industrial. El aumento principal se reveló en la industria metálica, que fué de 18,8 o/o; también fueron grandes los aumentos habidos en el ramo de la maquinaria, cerámica y la industria química en general.

El desarrollo de las industrias eléctricas y del gas fué realmente colosal. La producción del gas alcanzó a 8.096.640 metros cúbicos y las fuerzas eléctricas: 12.229.259 K. W. H.

VALORES DE ALGUNAS PRODUCCIONES INDUSTRIALES POR GRUPOS

Industria	Yens
Industria textil	2.005.525.000
Metálica	1.391.008.000
Química	1.273.073.000
Alimenticias	892.171.000
Maquinarias	722.881.000
Etc., etc.	

H. KATO

Unica Fábrica Japonesa de Tejidos de Sedas y Gran Instalación de Tintorería

HERRERA 2097 y 2111 U. T. 21-1841

Incluya un crucero alrededor del mundo en sus próximas vacaciones

Quando vaya usted a Europa, hágalo pasando por el Oriente

PASAJES MUY VENTAJOSOS

Para informes dirigirse a:

Osaka Shosen Kaisha

Diagonal Roque Sáenz Peña 616. - 2.º piso

PAGINA DE ACTUALIDADES

FALSO RUMOR ACERCA DE LA MEDIACION BRITANICA DESMENTIDO POR EL JAPON

La legación del Japón nos comunica la siguiente declaración del jefe del departamento de informaciones del Ministerio de Relaciones Exteriores, respecto a la falsa noticia de la mediación de Gran Bretaña referente al actual conflicto entre el Japón y China:

"Las agencias noticiosas Reiter y Tass hicieron circular recientemente informaciones según las cuales el gobierno del Japón había solicitado al de Gran Bretaña una mediación entre el Japón y China. Dichas agencias agregaron su observación de que círculos destacados del Japón dudaban de lograr la cesación de las hostilidades.

"Como se declaró oficialmente al comenzar este año, que es política del gobierno del Japón no negociar con el gobierno del Kuo-Min-Tang, pero sí pensar en el establecimiento y crecimiento de un nuevo régimen chino, con cuya armoniosa coordinación se pueda contar realmente, ayudando así a la fundación de una China rejuvenecida.

"Actualmente el gobierno provisional de Pekín y el gobierno de renovación de Nankín están alcanzando señalado progreso, y más aún, ese trabajo de fundación de una China rejuvenecida, como lo desea el Japón, está progresando uniformemente y satisfactoriamente. ¿Qué necesidad tendría el Japón de solicitar la mediación de una tercera potencia entre el Japón y China? Las noticias divulgadas por las agencias Reuter y Tass se entiende que no son más que un sondeo intentado por aquellos que abrigan propósitos ulteriores".

HABRA UNA GRAN REVISTA MILITAR EN TOKIO EL DIA DEL CUMPLEAÑOS DEL EMPERADOR

TOKIO, 13. — Habrá una gran revista militar en esta capital con motivo del cumpleaños del S. M. el Emperador, el día 29 del corriente.

Ha sido designado comandante en jefe de la misma el General de División Kotaro Nakamura.

EL CONSEJO DE MUJERES ORGANIZARA UN FESTIVAL INTERNACIONAL

El Consejo de Mujeres (Consejo Nacional de Mujeres) vinculada a la Federación Internacional de Consejos de Mujeres del Mundo, que funciona en Londres, organizará en breve un festival de carácter internacional, a la que ha sido solicitada la participación japonesa por intermedio del agente de la Kokusai Bunka Shinkokai.

ES INMINENTE LA INVASION JAPONESA DE LA CHINA DEL SUR

SHANGHAI, Abril 13 (United). — Es inminente la invasión japonesa de la China del Sur, pues las fuerzas navales y aéreas niponas se están concentrando en las afueras de Amoy y Foochow, desde donde se cree que se iniciará la campaña.

ADVERTENCIA A LOS EXTRANJEROS

SHANGHAI, 13. — Las fuerzas japonesas han

anulado la contraofensiva china en los frentes central y del Norte. Varias divisiones japonesas iniciaron inmediatamente una gran ofensiva contra toda la línea de defensa china, que incluye a Shangtung por el F. C. Lungtai. Estas informaciones corroboran con las noticias de la agencia Domei, según las cuales el Estado Mayor del Ejército Japonés informó a los extranjeros que sería mejor que evacuaran la zona entre el río Amarillo y el río Yangtze, porque estará sujeta a bombardeo de artillería y aviación.

SHANGHAI, 13. — El corresponsal de la agencia Domei en Pekín informa que el comando japonés reiteró sus cargos contra tropas chinas por uso abusivo de banderas extranjeras y dirigió un llamamiento a los neutrales residentes en la zona comprendida entre los ríos Amarillo y Yangtze, pidiéndoles: primero, que faciliten a las tropas japonesas mapas en los que esté claramente indicada la ubicación de las propiedades extranjeras, las que deben ser marcadas en forma fácilmente visible para las fuerzas de tierra y aire; segundo, que prohiban a las fuerzas chinas el uso de sus propiedades con fines bélicos, protestando ante las autoridades de Hankow si no se hiciera caso de su prohibición, y tercero, que adopten medidas tendientes a evitar que las fuerzas chinas empleen abusivamente las banderas neutrales.

FUE DESCUBIERTA UNA BANDA DE TERRORISTAS QUE PROYECTABAN SAQUEAR EL CONSULADO DEL JAPON

CHEFOO, 12. — El Cónsul del Japón en Chefoo telegrafió al ministerio de Relaciones Exteriores informando que ha sido descubierta una banda de terroristas saqueadores, compuesta de 2.500 hombres, que intentaban atacar y saquear el Consulado del Japón, Departamento de Policía, Casa de Gobierno y etc., siendo arrestados los cabecillas de la misma. Durante la lucha entre la policía, apoyada por las tropas de seguridad pública, fué muerto el jefe de la banda.

SE VA AL JAPON EN Sr. YONEHEI NAKAMURA

El Gerente de la firma "Nambei" —Compañía de Importación y Exportación, Sociedad Anónima, — señor Yonehei Nakamura, ha sido nombrado sub-gerente de la importante sucursal de Osaka de la firma Mitsui y Cia. Ltda., y partirá de aquí dentro de un mes.

Suena como probable sucesor del señor Nakamura en ésta el señor Masaichi Shirakata, ex sub-gerente de la misma, que actualmente se encuentra en Santiago de Chile, como gerente de la agencia de la casa Mitsui en la vecina República.

REUNION DE LOS EGRESADOS DE LA ESCUELA SUPERIOR DE LENGUAS EXTRANJERAS DE TOKIO

Para el día 18 están citados a una reunión de confraternidad los egresados de la Escuela de Lenguas Extranjeras de Tokio, residentes en Buenos Aires, que suman cerca de 30 profesores.

LIBROS NUEVOS EN LA BIBLIOTECA DEL INSTITUTO CULTURAL ARGENTINO-JAPONES

La Biblioteca del Instituto Cultural Argentino-Japonés, que ha poco recibió una colección de libros publicados por la Kokusai Bunka Shinkokai, cuya lista dimos a conocer, ha recibido ahora nuevas remesas del Japón, entre las cuales figura la colección del "Tourist Library Publications". Damos a continuación las nóminas para los que conocen el inglés, que pueden interesarse:

Tea Cult of Japan, Japanese Noh Plays, Sakura (Japanese Cherry), Japanese Gardens, Hiroshige and Japanese Landscape, Japanese Drama, What

is Shintó, Castles in Japan, Hot Springs in Japan, Floral Art of Japan, Childs Days in Japan, Kimono (Japanese Dress), Japanese Food Japanese Music, Judo (Jiujitsu), Family Life in Japan, Scenery of Japan, Japanese Education.

GENJI MONOGATARI

Por Murasaki Shikibu

"Genji Monogatari", la historia de Genji, descripción de la vida y costumbre del Japón antiguo, en forma de novela, escrita hace 1.000 años, en la época de oro de la literatura japonesa por la princesa Murasaki Shikibu, dama de honor de la Corte de Kioto, es una obra considerada como la joya de la literatura del Yamato.

La versión inglesa de la obra por el escritor inglés Arthur Waley y publicada en seis tomos, está al alcance de todo amante de la literatura.

"La historia de Genji resultará ser como una de las 12 mejores novelas del mundo", dice The Nation, de Londres; "Obra Maestra del Japón, una novela inmortal", dice The Morning Post.

"EL ARGENTIN DJIJO" ofrece a continuación unas líneas de la versión Waley, a título de información, para quienes puedan interesarse por la misma.

GENJI MONOGATARI

(La Historia de Genji)

Por MURASAKI SHIKIBU

LIBRO I - CAPITULO I

KIRITSUBO

En la Corte de un Emperador (no importa cuándo vivió) había entre muchas damas de honor una que, a pesar de no ser de muy alto rango, era la más favorecida. Tanto fué así que las grandes damas del Palacio, cada una de las cuales anhelaba secretamente ser la elegida, mirábanla con desprecio y odio, porque ella echó por tierra toda la esperanza con que habían soñado. Aun menos contentas estaban las ex-compañeras de ella, las damas juveniles de la Corte, por su rápido ascenso en calidad de gran dama. De manera que su posición en la Corte, preponderante como era, estaba expuesta constantemente a los celos y mala voluntad de todas. Esta situación, la mortificó tanto, que ella comenzó a decaer, moral y físicamente, y presa de melancolía y disgustos prefería vivir retirada con frecuencia en su propio hogar. Pero el Emperador, lejos de adivinar el motivo de su malestar, preocupado por el estado delicado de ella, se mostraba cada día más afectuoso para con ella, y no hacía caso alguno a los que le reprochaban su conducta, hasta que en el país entero llegó a habiarse de este amorio del Emperador. Esta actitud del Soberano inquietó a sus consejeros del Estado, quienes comenzaron a murmurar sobre este asunto, recordando que en el país allende los mares un hecho semejante fué la causa del decaer de la dinastía.

Y el pueblo no tardó en hacer demostraciones de descontento; algunos la compararon con Yang Hwei-fei, querida de Ming Huang-Yet, pero grande como era el descontento general, nadie osó molestarla, temeroso de ofender al Soberano.

¡Beba buen café!

EL CAFE DE SANTOS "AGUILA" está elaborado con los mejores catús que se importan del Brasil, tostados y con un 10 olo de azúcar abrigantado. ¡Nada más!

Muchos cafés que por ahí se expenden, ¿podrían afirmar otro tanto?

Deduzca Vd. y prefiera el

CAFE DE SANTOS "AGUILA"

ES UN PRODUCTO SANIT.

LAMPARAS "YAMADA" DE CALIDAD



Luz Clara - Terminación Prolija - Selección Especial

USE LAMPARA "YAMADA"

En venta en las buenas casas del ramo

OPINION DEL CONTRAALMIRANTE ISHIMARU

TOKIO, 12. (AP.) — El contraalmirante retirado Tota Ishimaru manifestó en el curso de una entrevista que una guerra mundial en un futuro cercano depende de la alianza que elijan los Estados Unidos, Ishimaru, a quien se considera uno de los más autorizados peritos navales del Japón ahora la mayor responsabilidad que jamás haya recaído sobre un pueblo solo. Todo está preparado para el comienzo de una guerra, que quizá se produzca en 1939. Depende de los Estados Unidos que la guerra se postergue indefinidamente.

El contraalmirante Ishimaru, que dice dedicar actualmente su tiempo a estudiar problemas políticos y navales, considera que la agrupación de las naciones es casi exactamente la misma que en 1914. Declaró que "Gran Bretaña, Francia y Rusia están de un lado, y Alemania, el Japón e Italia del otro. El poderío de ambos grupos está equilibrado de manera casi igual. Creo que los tres países nombrados en primer lugar atacarían ahora al Japón, con el pretexto de la política japonesa con respecto a China, si pudieran estar seguros de apoyo norteamericano. De aquí que los Estados Unidos sean un factor decisivo".

Ishimaru aseguró que, por el contrario, Alemania, Italia y el Japón podrían verse obligados a tomar la ofensiva si los países rivales ejercen presión, y descartó por último la posibilidad de una guerra entre el Japón y los Estados Unidos solamente.

ARMAS PARA CHINA

HONG-KONG, 12 (AP.) — En los círculos navieros se dice que el vapor de carga británico Stanhorpe llegó procedente de Mariupol, puerto ruso del Mar Negro, con un cargamento de granadas y de grandes cañones rusos, que deberán ser trasladados con destino a China.

El Stanhorpe estuvo dedicado durante diez meses a llevar abastecimientos a los republicanos españoles.

LOS OFICIALES JAPONESES NO SE DEJAN CAPTURAR

SHANGHAI, 12 (AP.) — Un representante del ejército japonés declaró que, después de nueve meses de guerra, los chinos no tienen un solo oficial imperial prisionero y predijo que ninguno será tomado con vida. Agregó que todos los oficiales japoneses juran seguir el código de honor de los samurai, que exige el suicidio cuando parece inevitable la captura.

El mencionado representante añadió: "En el campo de batalla, los oficiales japoneses mueren en acción, pero si reciben heridas y no pueden continuar luchando se suicidan con sus armas de fuego o procediendo al "harakiri".

VICTORIAS DE LAS FUERZAS NIPONAS

PEIPING, Abril 12. — La táctica japonesa en las operaciones militares de la provincia de Shansi

ha demostrado plenamente su eficacia y prelación. Debido a ella el ejército expedicionario no sólo ha triunfado en todas partes sino que también ha conseguido arrancar de raíz al comunismo para librar a las poblaciones de su opresión y darles la dignidad que corresponde.

A mediados de Marzo el ejército comunista contaba al Sur de la Provincia de Shansi con 32 divisiones, las que al finalizar el mes fueron retirándose hacia Kiang-Nan y Shensi. El grueso de su ejército, al ser impedida la travesía del Río Amarillo, por el ejército observador de Chiang Kai Shek, sucumbió trágicamente en las orillas del citado río. Algunas divisiones que se salvaron, se convirtieron en bandoleros saqueadores de la población civil del interior, cometiendo toda suerte de abusos y violencias.

Al norte, y en la región occidental de la misma provincia, la ofensiva japonesa fué sumamente enérgica, obligando al enemigo a retirarse a la provincia de Shensi, en donde se unió a las fuerzas comunistas recientemente organizadas.

EL FRACASO DEL BOYCOTT ANTI JAPONES

WASHINGTON, 12. — Mr. Thompson al comentar el fracaso del proyectado boycott a la mercadería japonesa en Estados Unidos dice: "La iniciativa del boycott a la mercadería japonesa, nació en fuentes anónimas. Nadie ha querido asumir la responsabilidad de esa iniciativa, la que encontró desde el primer momento la oposición en los propios núcleos populares. Nos felicitamos de ella y también nos explicamos esa actitud. La mercadería japonesa que se exporta es el producto del trabajo de un pueblo que vive en condiciones territoriales precarias. Decretar el boycott a su mercadería, es limitar su producción y sus exportaciones y por tanto, condenar a un régimen de vida miserable a cientos de miles de obreros, que trabajan para sustentarse ellos, a sus esposas, a sus hijos, a sus madres o a sus hermanos. Pero no únicamente un sentimiento de sana solidaridad humana debe llevarnos a desechar tales proyectos, sino también de alta política. El boycott a la mercadería japonesa, decretada en China por las intrigas políticas, acuciadas desde afuera, han llevado al actual conflicto, cuyo desarrollo no puede a menos que condolernos por los millares de hombres que sufren.

No encendamos el fuego de la destrucción y de la maldad y mantengámonos, como hasta ahora, tratando de hacer el bien y de evitar la propagación de los males que afectan en la hora actual a la humanidad.

El Ejército Japonés y la Política

Por TATSUO IWABUCHI

Es el objeto de este artículo mostrar la naturaleza de la posición política "única" de los militares del Japón, generalmente tan mal conocida y peor interpretada. Cómo y por qué al han adquirido, así como del pensamiento político de los jefes militares con relación a la política general del país.

La política "única" del ejército y de la marina japonesa en la política nacional, deriva de la manera cómo son nombrados sus ministros y la distinción que se hace entre la conducta de los mismos en los asuntos del Estado y en la milicia. La organización del Gabinete en el Japón prevé que los ministros de guerra y de marina deben ser elegidos de entre los Generales y Generales de División o Almirantes y Vice-Almirantes en servicio activo, a pesar de que la reforma del año 1921 admite que los de la situación de reserva pueden también ocupar esos puestos, pero no lo han sido nunca puesto en práctica. Las autoridades del ejército y de la marina dan una importancia suprema al servicio activo y no satisfechos de la provisión de la reforma citada, obtuvieron un arreglo caballeresco con el Gobierno de que la práctica anterior permanecería en vigor.

El ejército del Japón tiene un convenio entre los tres poderes llamado triunvirato del ejército, o sean: Ministro de Guerra, Jefe del Estado Mayor y el Inspector General de la Instrucción Militar, y confirmado por el Emperador, que no permite al Ministro resolver los asuntos personales del ejército sin consultar a los otros poderes del ejército mencionado. Esta medida fué tomada por el ejército para proteger de las posibles influencias políticas que el miembro del Gabinete pudiera ejercer. Quiere decir que el ejército y la marina del Japón no tendrá Ministro, sin el consentimiento de la milicia.

El Mariscal Príncipe Arimoto Yamagata, organizador del ejército moderno del Japón y el Príncipe Hirobumi Itó, que preparó las bases de la Constitución, fueron responsables de esta situación peculiar de la milicia japonesa.

Los pro-hombres de la era de Meiji, introdujeron al Japón el régimen parlamentario de gobierno, pero ellos no lo hicieron por su simple fe en el nuevo sistema, sino que comprendieron que era necesario seguir la corriente de la idea popular para evitar cualquier disturbio interno. Luego era inevitable que, con la promulgación de la Constitución, viniese el gobierno parlamentario, lo que trajo, como consecuencia natural, la influencia de los partidos políticos. Los próceres del Japón moderno no tenían fe en los partidos políticos. Temieron que los militares podrán ser instrumentos de los partidos políticos cuando éstos estuvieran en el poder. El príncipe Ito cambió de parecer después, y organizó él mismo un partido del cual fué presidente muchos años, pero el mariscal Yamagata murió sin variar su idea, influyendo poderosamente con su tradicionalismo sobre espíritu militar.

La defensa nacional constituye un factor político de mayor importancia en cualquier país que adelante. Cuando el Japón cambió su política de puerta cerrada, ante la presión de las circunstancias a disponer más de la mitad de sus recursos nacionales para organizar la defensa nacional. Si no lo hubiera hecho, habría perdido el derecho de seguir compitiendo con las potencias. Y para organizar la defensa nacional en la forma más eficiente era necesario divorciar a la milicia de la influencia política, siempre peligrosa.

Sastrería Japonesa

Fundada en el año 1916

de S. Katayama

PIEDRAS 572

U. T. 33-5452

KOKUSAI BUNKA SHINKOKAI

Sociedad de Fomento de Cultura Internacional

TOKIO — JAPON

Agente en Buenos Aires: G. Yoshio Shinya

Facilita gratuitamente toda clase de informaciones culturales relacionadas con el Japón. Atiende personalmente todos los días hábiles, menos sábados de 16 a 18 horas en la secretaría del Instituto Cultural Argentino-Japonés.

Museo Social Argentino, Viamonte 1435.

Página Argentina

EL GAUCHO

Por CARLOS OCTAVIO BUNGE

El gaucho se formó en la planicie y bajo un clima templado. Fué el hijo de la pampa, aquel desierto siempre verde bajo un cielo siempre limpio, antes de que la moderna cultura le poblase de industrias y ciudades. Entrecortaban la desolación del paisaje algún ombú solitario, tal cual bosquecillo de talas, y si acaso el rumor de los arroyos o el espejo de las lagunas, donde bandadas de aves reflejaban sus plumajes de púrpura y de nácar. A lo lejos sorprendía la vista fatigada por la sensación de la inmensidad, el grupo multicolor de caballos cimarrones. Salpicaban el mar de la llanura, como islotes, acá y allá, en grandes manchas calizas, montones de osamentas de vacas silvestres. Cuando por su copiosidad parecían cubrir la haz de la tierra, habían sido sacrificadas por trops de gauchos, para vender los cueros y la grasa. La carne se abandonaba a los carachos y chimangos que, posados señorialmente sobre aquellos restos, se dirían mitos de una religión exterminadora. Tras la línea del horizonte estaban los indios, siempre en acecho. Al sonar la hora del malón, brotaban entre el silencio y la sombra, lanceaban a los hombres y a los niños, arrebatában a las mujeres, dispersaban el ganado y huían mez-

clando en el viento sus ensangrentadas melenas con las crines de sus potros.

Sólo por extensión se aplica ahora el nombre de gaucho al criollo de la montaña y de la zona subtropical. El paisano de las llanuras secas del interior tenía otra sangre, en mucho mayor proporción mezclada con las diversas razas indígenas y otras costumbres y medios de vida. Era tropero, no se dedicaba a la ganadería, sino a la industria de transporte con recuas de mulas o con carretas tiradas por bueyes. A causa de los accidentes del terreno, opuestos a la configuración geográfica de las llanuras litorales, creó la guerra de montañas, contra el español, muy distinta de la guerra gaucha, que lo fué de desierto y de campamento, contra el indio. El gaucho ha sido, por lo tanto, un tipo local y transitorio. No obsta ello a su trascendencia en la historia patria, pues superaba, por razones de raza, de espíritu y de clima, a los demás criollos, y ocupó las regiones más dilatadas y favorables del país.

Era fuerte y hermoso por su complejión física; cetrino de piel, tostado por la intemperie; mediano y poco erguido de estatura, enjuto de rostro como un místico; recio y sarmentoso de músculos, por los continuos ruidos ejercicios, agudo en la mirada de sus ojos negros, habituados a sondear las perspectivas del desierto. Su temperamento se había hecho nervioso-bilioso por la alimentación carnívora y el género de vida. Si sobre su corcel era como un centauro, a pie, la misma costumbre de vida desde niño cabalgando a través de incommensurables distancias, resultaba la figura un tan-

to deslucida, ligeramente agobido de espaldas y combado de piernas. Por sus facciones cortetas, sus sedosos cabellos y barbas, y sobre todo por lo trasplantado a las orillas del Betis.

Entregóse al pastoreo, su medio de subsistencia; pero en una forma peculiar, y los vacunos dispersos y en estado silvestre y su fácil propagación sin los cuidados del hombre, dieron a esta industria, en las pampas, un carácter que participaba de la caza. El gaucho dividía sus faenas entre el apesamiento del ganado salvaje y en domesticación a campo raso. En cambio, desdeñaba la agricultura, que apenas conocía. Su estirpe guerrera, su alimentación substanciosa, la fuerza y la destreza que necesitaba para explotar su ganadería, la soledad de las llanuras donde moraba libremente, sin sujeción a autoridad alguna, así como sus repetidas luchas para defenderse de las incursiones de la indiada, en unas fronteras móviles que le circundaban por doquiera, le templaron el cuerpo y el alma. No en vano deriva su nombre, según etimología probable —por la "inversión silábica apellidada metátesis, por la acentuación y preeminencia de la vocal fuerte"— de la voz quechua GUACHO, que significa huérfano, sin padres conocidos, abandonado, errante.

N. de la R. — El Dr. Carlos Octavio Bunge nació en Buenos Aires en 1875 y murió en la misma en 1915. Fue eminente Sociólogo, Educacionista y Jurista. Recomendamos su obra: "Nuestra América".

<p>"NAMBEI" Compañía de Importación y Exportación Sociedad Anónima Telegramas "NAMBEI" U. T. (33) 3001, 3002, 3003, 3004, 3008 y 3571 T. T. Buenos Aires, 904</p>	<p>T. NISHIZAWA Representante de Mitsubishi Shoji Kaisha, Ltda. FLORIDA 229 U. T. 33-5469-2961</p>	<p>F. KANEMATSU y Cía. Ltda. Importaciones y Exportaciones JUJUY 136 - U. T. 45, Loria 5823 y 5824</p>	<p>S. TSUJI Importador BALCARCE 682 - U. T. 38 Avda. 5744</p>
<p>H. KATO Única Fábrica Japonesa de Tejidos de Sedas y Gran Instalación de Tintorería HERRERA 2097 y 2111 - U. T. 21-1841</p>	<p>S. YAMADA y Cía. Importadores MORENO 2039 U. T. Cuyo, 47-4354 y 4405</p>	<p>PIDA SIEMPRE Marca KANEBO PARA TEJIDOS RIVADAVIA 1210 (4o. piso) U. T. 38 - 3239</p>	<p>LA MAISON SATUMA K. YOKOHAMA Objetos de Arte y Antigüedades ESMERALDA 1080 - U. T. 31-8801 Sucursal: SUIPACHA 865 - U. T. 31-4837</p>
<p>SADAO HATTORI IMPORTADOR Especialidad en artículos de Cepillería LINIERS 649 - U. T. 45, Loria 3218</p>	<p>IIDA y Cía. Ltda. (Takashimaya) Importadores y Exportadores RODRIGUEZ PEÑA 162 U. T. Mayo 38-3419</p>	<p>M. OMURA Importador de artículos generales del Japón SAN MARTIN 235 - U. T. 33-2683</p>	<p>G. KATO (C. YUASA) Representante de KATO BUSAN KAISHIA Ltd. Av. Roque Sáenz Peña 825 U. T. 35-5696</p>
<p>KATSUDA y Cía. Importadores MEXICO 1474 - U. T. 38, Mayo 2313</p>	<p>N. HARA y Cía. Importadores BELGRANO 1470 U. T. Mayo 38-2438 y 9437</p>	<p>S. ANDO y Cía. Importadores DEFENSA 532-40 U. T. 33 (Av.) 2296</p>	<p>Sastrería JAPONESA Fundada en el año 1916 de S. KATAYAMA PIEDRAS 572 - U. T. 33-5452</p>
<p>B. TAKINAMI Importador Casa Establecida en el año 1905 VICTORIA 733 - U. T. Mayo 38-3413</p>	<p>CARLOS C. ISHIY Importador y Exportador Bm6. MITRE 341 - U. T. 33 Avda. 9782</p>	<p>JIRO HONDA y Hno. Importadores de Artículos Generales del Japón MORENO 1320 - U. T. 38 Mayo 2718</p>	<p>GUIA JAPONESA LEGACION DEL JAPON: Reconquista 336. - U. T. 31-3193. CONSULADO DEL JAPON: Reconquista 336. U. T. 31-0978</p>
<p>I. HIROTA Importador de artículos generales del Japón CHILE 1029 - U. T. 37 (Riv.) 0251</p>	<p>S. YOKOBORI Representante de FUJISAKI y Cía. CANGALLO 499 3er. Piso Esq. N.º 21-22 - U. T. 33-9390</p>	<p>Casa "YAMANAKA" Oriental Fine Art Curious VIAMONTE 624 - U. T. 31 7846</p>	<p>CAMARA DE COMERCIO JAPONESA: Avenida Roque Sáenz Peña 618. - U. T. 33-1452. INSTITUTO CULTURAL ARGENTINO-JAPONES: Viamonte 1435.</p>
<p>N. IKEDA The National City Bank of New York BARTOLOME MITRE 502 U. T. Avenida 33 - 4031</p>	<p>TARO MURAI Única Casa Introdutora de Porcelana "NORITAKE" MAIPU 463 - U. T. Retiro 31-3189</p>	<p>K. YASUNAGA Compañía Argentina, Comercial e Industrial de Pesquería DEFENSA 1597 - U. T. 33-7769</p>	<p>ASOCIACION JAPONESA: Patagones 840. - U. T. 23-4893. COMPAÑIA DE VAPORES O. S. K.: ROQUE S. PEÑA 616 - 2º Piso U. T. 33-1051 - 1052 - 1053 y 3565</p>